



2025年11月25日

各 位

会 社 名 株式会社タカギセイコー
代表者名 代表取締役社長 高木 章裕
(コード番号 4242 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 沖 孝則
電 話 0766-24-5522

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以 上

NEXTAGE 100



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2025年11月25日

株式会社タカギセイコー [東証スタンダード市場 証券コード:4242]
<https://www.takagi-seiko.co.jp/>

- 注
- 当資料に記載された内容は、2025年11月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。
 - 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
 - 本資料は弊社の著作物であり、弊社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

2032年3月期 数値目標

連結ROE(自己資本利益率)

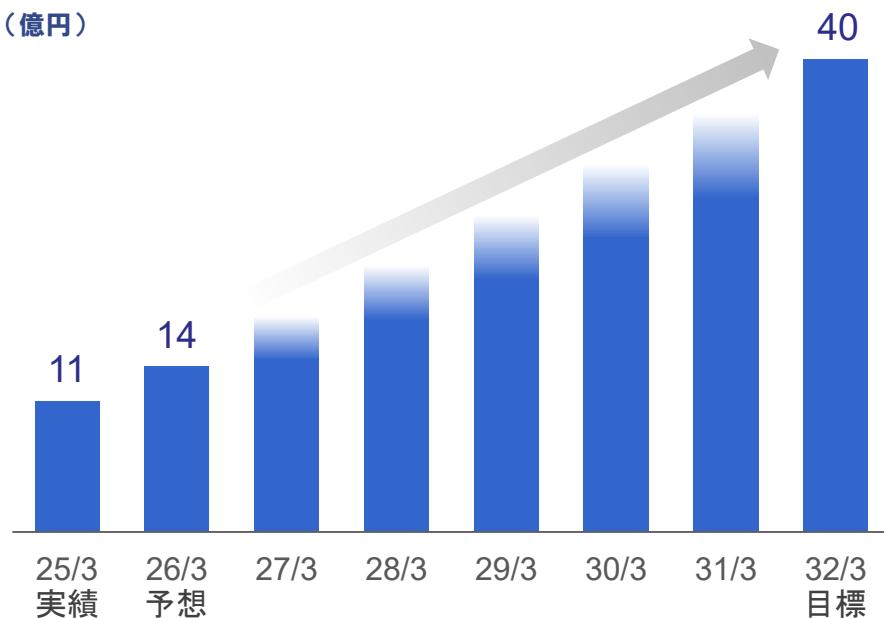
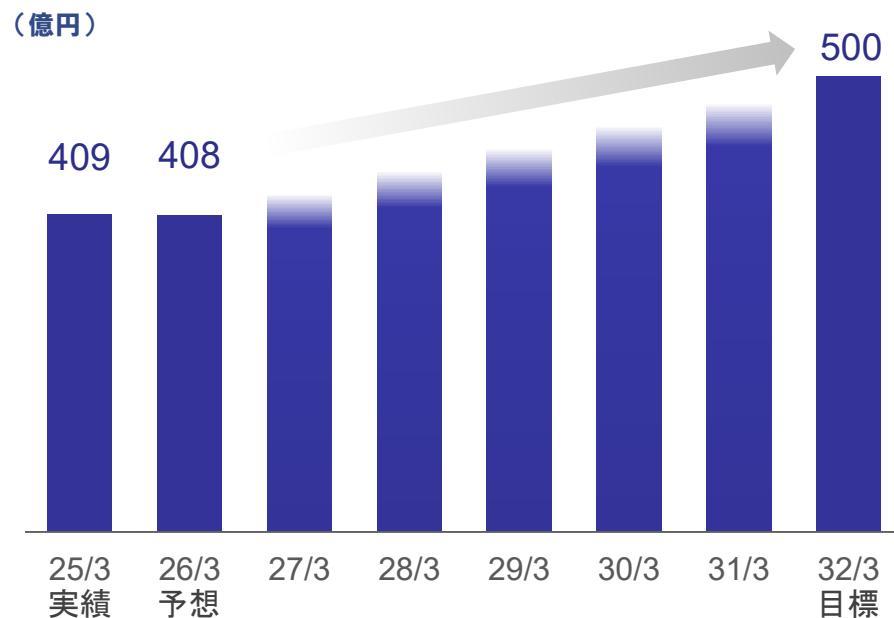
12%以上

連結売上高

500億円以上

連結営業利益

40億円以上





社会の公器として永続する企業であること

- ▶ 様々に変化する事業環境の中においても安定して事業継続できることが必要
- ▶ 高収益体质な会社として、利益率を高めるとともに財務基盤を強固にする



誰からも信頼される会社（100年企業）

『タカギセイコーという会社があってよかった』
と言ってもらえる会社

※100年企業 = 永続企業

事業基盤の



事業活動に対する



安心

お客様や社会の
課題解決に貢献する



有益

会社の活動や社員の
行動に表れる



社風

ビジョン
目指す姿

気候変動への取り組みと 脱炭素社会の実現

温室効果ガスの削減
再生可能エネルギーの普及
カーボンニュートラルの推進

タカギセイコーが解決できる社会課題

資源の有効活用と 循環型社会の構築

プラスチック廃棄物の削減
リサイクル技術の向上
資源の効率的利用

人口減少と高齢化社会 への対応

介護・医療分野の技術革新

デジタル化とDXの推進

産業のデジタル化
スマートシティの実現

プラスチックに秘められた無限の可能性を“力タチ”にする

チャレンジングな社風



当社のコア技術

- 成形法のバリエーションを活かした柔軟な対応力
射出成形 ブロー成形
回転成形 DCP-RIM
高速スタンピング成形
- 多彩な二次加工技術を駆使した付加価値創造
加飾技術：塗装・印刷・蒸着・フィルムインサート
接合技術：超音波・振動溶着・熱板溶着
アッセンブリ技術：自動検査による自動組立



当社の強み

- 顧客の商品企画・設計から金型製作、成形、
二次加工まで自社で行う**TS生産一貫システム**
- **樹脂化設計段階からの参画**を通じた顧客ニーズ実現
- 量産立ち上げまでの期間短縮と品質向上を可能とする
コンカレント・エンジニアリング・システム
- 多様な分野で培った豊富な経験と技術力
- 新しい技術への挑戦で未来を切り拓く力
- 時代の最先端分野への対応力
- 多様なソリューションによる、顧客課題の解決力



タカギセイコー 成長の原動力

中長期対応方針

様々なに変化する事業環境の中においても
安定して継続的に事業展開できる基盤づくり

国内収益基盤の強化

生産品目の選択と集中
差別化技術の開発
新規分野・お客様の開拓
効率生産体制の確立

海外収益基盤の強化

海外市場の見極めと投資検討
効率生産体制の確立

事業運営基盤の強化

人材の育成 組織運営体制の更なる強化 財務体質の強化
内部統制システムの充実 環境にやさしい企業活動

国内収益基盤の強化

取組施策

国内施策①

- 生産品目の選択と集中

国内施策②

- 差別化技術の開発

国内施策③

- 新規分野・お客様の開拓

国内施策④

- 効率生産体制の確立

具体的実施事項

- 当社が保有するオンリーワン、ナンバーワン成形技術を活用した製品の営業活動推進
- 既存顧客との関係強化に向けた、技術交流会の開催や生産対応のための体制検討・構築
- 収益性に応じたメリハリのある受注継続判断

- 固有成形技術の高度化に向けた開発推進（回転成形法による水素タンクライナーの開発）
- 新たな成形技術の導入に向けた開発推進

- 固有技術を活かした新規顧客開拓の推進
- 差別化技術による新製品・新事業領域の創出

- ロボットやAI技術の導入による自働化推進
- 生産工程のDX化推進

海外収益基盤の強化

取組施策

海外施策①

- 海外市場の見極めと投資検討

具体的実施事項

- 各国の市場性、成長性、持続可能性、リスク等を基にした事業判断(進出・増強、撤退)
- 新たに事業展開する場合の多様な展開形態の検討(会社設立、出資、技術提携等)

海外施策②

- 効率生産体制の確立

- 省人化・効率化生産を目的とした自働化推進

事業運営基盤の強化

取組施策

運営施策①

- 人材の育成

運営施策②

- 組織運営体制の更なる強化

運営施策③

- 財務体質の強化

運営施策④

- 内部統制システムの充実

運営施策⑤

- 環境にやさしい企業活動

具体的実施事項

- 社員が成長できる機会の創出(新人事制度の運用定着・教育研修内容の充実)
- 会社に提言することで経営マインドを高めるワーキングチーム活動の実施

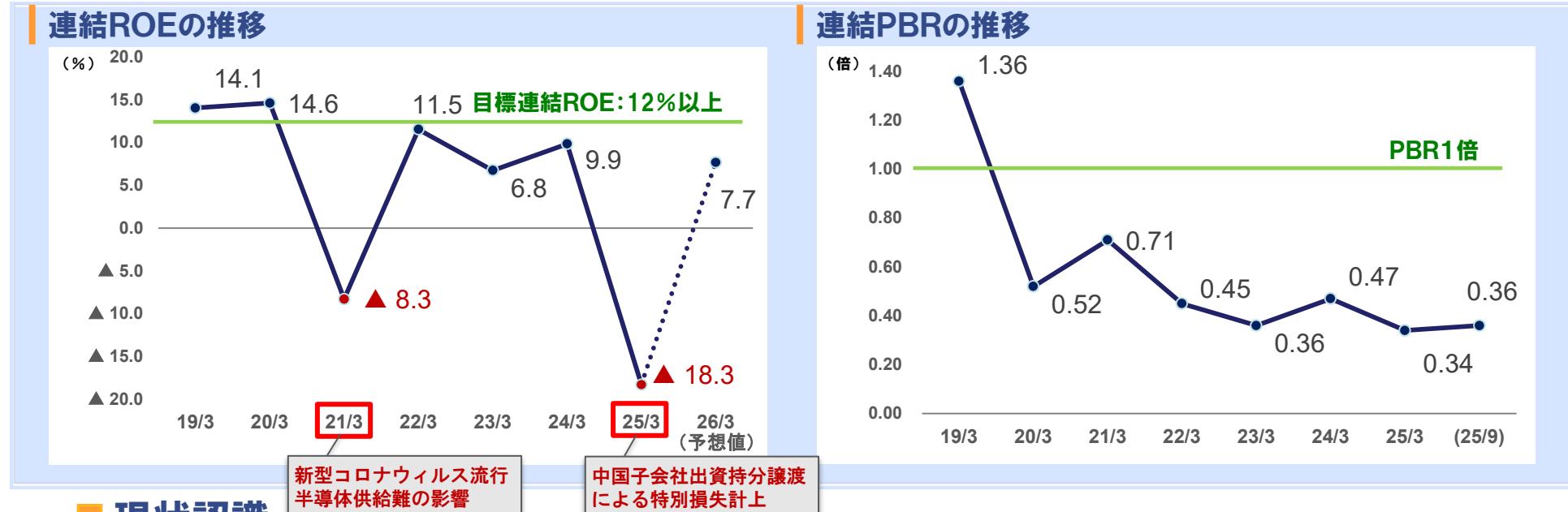
- 事業環境の変化に対応するための組織運営体制の見直し検討と実行

- 継続的な利益創出による財務基盤強化を通じた財務健全性の確保

- 内部統制委員会(J-SOX法、コンプライアンス、リスク管理の各委員会)の活動推進

- 環境に配慮した生産設備の導入推進
- 廃棄物削減や資源循環の取り組み強化
- 再生可能エネルギーの活用推進

株主資本コストと株価に関する現状認識



■ 現状認識

- ・ ROE(自己資本利益率)は、特殊要因が発生した年度を除き、概ね8%以上を確保
- ・ 一方、当社の株主資本コストは10%以上と認識
- ・ ROEが株主資本コストを下回っており、PBR(株価純資産倍率)は1倍割れが継続

■ PBR1倍割れの要因分析

①成長性への期待感の不足

当社の将来的な収益成長に対して、市場からの期待を得られていない

②財務基盤への懸念

当社の財務の安定性に対して、市場からの信頼を得られていない

PBR1倍超の実現に向けた施策

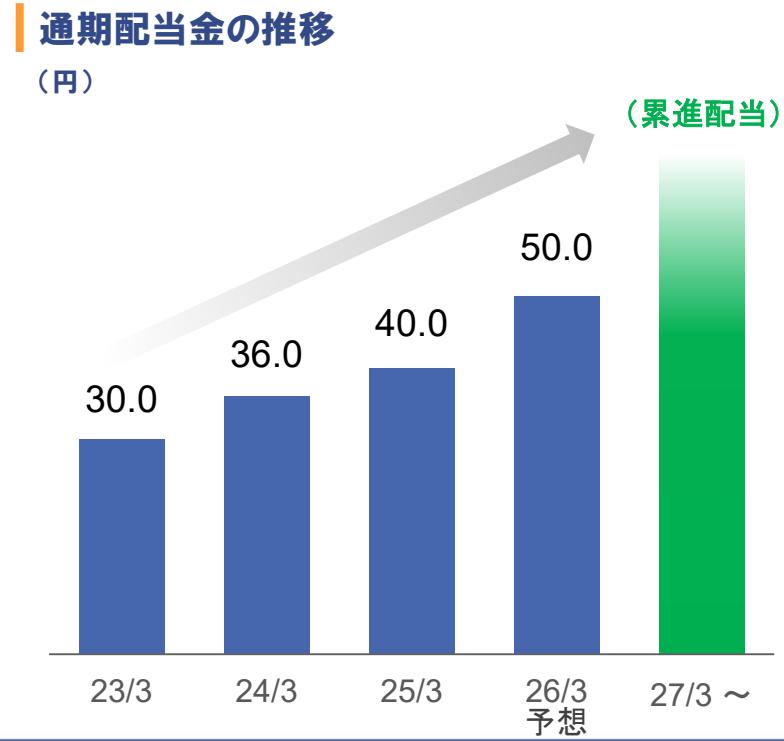
「収益性の向上(ROE向上)」と「市場からの信頼獲得(株主資本コスト低減)」を両輪で推進し、PBR1倍超の実現を目指す

実施項目	関連施策	具体的な取り組み	期待される効果
事業の選択と集中	国内施策①②③ 海外施策①	<ul style="list-style-type: none">・高付加価値領域への経営資源集中	
生産性向上・原価低減	国内施策④ 海外施策②	<ul style="list-style-type: none">・全社的なプロセス改善	収益性の向上 (ROE向上)
持続的成長力の強化	国内施策①②③④ 海外施策①② 運営施策①	<ul style="list-style-type: none">・戦略的投資(研究開発・設備投資等)・事業ポートフォリオの最適化・人的資本への投資	目標:2032年3月期 連結ROE12%以上
経営リスクの低減 と情報開示	運営施策②③④⑤	<ul style="list-style-type: none">・財務健全性の向上・ガバナンス体制の強化・ESG経営の推進と情報開示・積極的なIR活動	市場からの信頼獲得 (株主資本コスト低減) 連結ROEを下回る 水準を目指す
株主還元の強化	配当方針	<ul style="list-style-type: none">・累進配当の継続	PBR1倍 超の実現

配当方針

当社は、企業価値を高めながら株主の皆様に利益還元を図ることを経営の重要課題のひとつと考えております。事業の中長期的な展望のもと、企業価値向上に備えた投資の原資確保と財務体質の強化を図りつつ、累進配当の継続を基本方針といたします。

	1株当たり配当金			1株当たり 純利益
	中間	期末	通期	
2023年3月期	15.0円	15.0円	30.0円	253.66円
2024年3月期	18.0円	18.0円	36.0円	428.74円
2025年3月期	20.0円	20.0円	40.0円	▲808.20円
2026年3月期 (予想)	25.0円	25.0円	50.0円	308.07円





[IR連絡先] 経営管理部

TEL 0766-24-5411 FAX 0766-23-3101

E-mail IR@nts.takagi-seiko.co.jp

<https://www.takagi-seiko.co.jp/>
